

薬害資料データ・アーカイブ ズの基盤構築および活用に 関する研究

藤吉圭二(追手門学院大学社会学部)

第20回薬害を学び再発を防止するための
教育に関する検討会

2021年1月25日 オンライン参加



0. 本日の報告

1. これまでの研究活動
2. 今年度の研究活動



1. これまでの研究活動(1)

- そもそものはじまり
- 「薬害肝炎事件の検証及び再発防止のための医薬品行政のあり方検討委員会」の提言(2010年4月)

1. これまでの研究活動(2)

- すべての国民に対する医薬品教育を推進するとともに、二度と薬害を起こさないという行政・企業を含めた医薬関係者の意識改革に役立ち、幅広く社会の認識を高めるため、薬害に関する資料の収集、公開等を恒常的に行う仕組み(いわゆる薬害研究資料館など)を設立すべきである

1. これまでの研究活動(3)

- 2013-2014(金慶南)薬害に関する資料等の調査・管理・活用等に関する研究
- 2015(金慶南)薬害資料データ・アーカイブズの基盤構築に関する総合研究
- 翌年から藤吉が研究代表者を引き継ぐ
- 作業場は大阪人権博物館から市内港区弁天町のテナントビルに移転



2. 今年度の研究活動(1)

- 作業スペースにて当事者団体資料の調査と整理
- 資料を保管する団体への訪問と保管状況の調査(オンライン等も含む)
- 当事者団体や弁護団への進捗状況の報告と意見交換
- 各種資料館の調査



2. 今年度の研究活動(2)

- 資料調査の現状
- 団体資料によってはファイル(簿冊)レベルだけでなくアイテム(件名)レベルまで見えてきた
- 資料保存の必要性、資料整理の重要性をイメージするツールとして活用



2. 今年度の研究活動(3)

- 団体資料(アーカイブズ)の特徴
- 書籍:単体で独立して読める
- アーカイブズ資料:内容も重要だがそれがどういう文脈でつくられたかも同じくらい重要
- ふたつのC(ContentとContext)が大事

2. 今年度の研究活動(4)

- 書籍の検索:分野から入って著者名や書名でピンポイントに検索
- 資料の検索:それがどんな文脈で作られたものかも見ながら検索
- →似たような内容の資料でも会議前の「案」か会議を経て承認されたものかで位置づけが異なる



2. 今年度の研究活動(5)

- アイテムレベルまで調査のすんだ資料のデータを、
- 作成の「文脈」を加味した検索システムに載せてみて、
- 「団体資料」のイメージをよりつかみやすく説明していく
- ...下準備はほぼ完了。



2. 今年度の研究活動(6)

- 証言映像研究班
- 厚労省事業として実施されている証言映像の調査・分析から始まった研究
- 内容については別途報告あり



ひきつづきのご支援をお願いいたします。

K-fujiyoshi@otemon.ac.jp